

有機無機超分子複合体を用いた水圏 光機能材料の創出



堀内 新之介

長崎大学・助教

可逆な結合形成や分子間相互作用の協奏効果を利用して、新しいタイプの分子集合体を創出し、その機能解明を行なっています。この手法の特徴は、分子集合体が形成する過程で強弱様々な相互作用が影響しあうため、初期条件によって得られる集合体の構造や性質

をコントロールできる点にあります。本研究では水分子のはたらきを変えることで得られる分子集合体の集合構造を制御し、その集合構造に由来した光機能を明らかにします。また、得られた分子集合体に含まれる水の性質も先端計測や計算科学によって明らかにします。

分子集合体の例：錯体内包型超分子

